

平成 26 年 3 月 14 日

各位

会 社 名	株式会社T & C ホールディングス
代表者名	代表取締役 田中茂樹 (コード番号 3832)
問合せ先	取締役 松本貞子 (TEL. 03-5443-7489)

### 合弁会社設立に関する覚書締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、(1) 北京南山記念幹細胞生物科技有限公司、(2) 思丹姆賽欧科技(天津)有限公司との間で、それぞれ合弁会社設立を目的に、覚書を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 合弁会社設立の目的

平成 25 年 12 月 20 日付「新たな事業の開始及び株式会社クオリーメン及び株式会社ジェネシスとの業務提携契約の締結に関するお知らせ」を公表後、当社が展開する「再生因子を使った再生医療」事業について、当社取締役である王の知人である CFDA(国家食品薬品监督管理局)の職員の方を通じて、医師及び再生医療にかかる技師に紹介いたしました。中国では、既に幹細胞移植による医療は行われておりますが、幹細胞の培養上清に分布する再生因子を活用しておりません。再生因子を使った再生医療は、再生因子の活用により、移植よりも容易に臨床が可能になることから、医療サービスの拡大につながるものであると当該事業を高く評価され、CFDA の職員の方から事業展開に最適な 2 社(北京南山記念幹細胞生物科技有限公司及び思丹姆賽欧科技(天津)有限公司)を紹介され、当社代表取締役である田中、取締役である王と北京南山記念幹細胞生物科技有限公司の董事長である陸文昭氏、思丹姆賽欧科技(天津)有限公司の総経理である劉忱氏を中心に幹細胞医療に携わる医師と協議を重ねてまいりました。

北京南山記念幹細胞生物科技有限公司及び思丹姆賽欧科技(天津)有限公司は、平成 26 年 3 月 4 日から同 6 日にかけて開催された、第 13 回日本再生医療学会においても、複数の研究者から、再生因子が中枢神経損傷、肝硬変、糖尿病、アトピー性皮膚炎、創傷、心筋梗塞、関節炎、多発性硬化症などに有効で画期的な治療法になる可能性があることが発表され、肝硬変、糖尿病を対象に間もなく日本で臨床が始まることを受け、当該事業の有用性や将来性を深く理解されたことから、このたびの合弁会社設立に関して合意に至りました。

このたびの合弁会社設立に関する覚書は、臍帯幹細胞の培養により産出される再生因子及び乳歯髄幹細胞の培養により産出される再生因子を中国国内で生産し、中国及び日本の医療機関に、将来的には台湾やシンガポール、ヨーロッパへの販売も視野に入れ、設立することを目的として

おります。

当社は、平成 26 年 2 月 20 日付「新商品の販売に関するお知らせ」にて公表のとおり、再生因子を使った業務用化粧品として「スキングロウス」及び「ヘアグロウス」の販売を開始しており、日本国内以外に中国の医療機関及び美容施設への販売を始めております。一方で、中国国内の医療現場に再生因子を海外から提供することは、中国のレギュレーション上実質的に難しいため中国国内において再生因子を生産することが必須であると、CFDA の職員の方から助言を受けました。

(1) 北京南山記念幹細胞生物科技有限公司とは、ヒト由来の臍帯幹細胞の培養により産出される再生因子を生産、販売する合弁会社を設立する予定です。北京南山記念幹細胞生物技術有限公司は、武漢東湖ハイテク産業開発区にあり、湖北省により設立された省レベルの幹細胞バンク「湖北省幹細胞バンク」より運営を委託されている武漢道培胎盤幹細胞生物技術有限公司を子会社に持ち、主に幹細胞新薬、幹細胞保存技術、幹細胞分離及び保存等の開発および幹細胞移植の臨床応用を一体で行っている中国唯一の企業グループです。

「湖北省幹細胞バンク」は、幹細胞新薬の研究、幹細胞保存技術、幹細胞治療のプラットフォームであり、中国衛生部、CFDA、FDA（アメリカ食品医薬品局）及び AABB（アメリカ血液バンク協会）の幹細胞バンクと血液バイオ製剤のガイドラインに従って構築され、GMP（適正製造規範）、GLP（優良試験所規範）に適合した幹細胞の試験室や分析室等を含む保存室の延べ面積 4,500 m<sup>2</sup>、100 万人分の保存容量を有する、アジア最大級の幹細胞バンクです。また、アメリカより最先端の自動幹細胞分離装置や自動幹細胞保存設備、プログラム制御冷却装置、高速遠心機、臍帯血バンクデータ管理システムなどのハイテク研究機器を導入したことにより、幹細胞の採取率が高まり、精緻な検査、安定した保存が行われております。合弁会社はこの湖北省幹細胞バンクより場所の提供を受け、湖北省幹細胞バンク内に設立する予定です。上述のとおり、湖北省幹細胞バンクは湖北省の支援により多くの臍帯の収集が可能で、すでに大量の臍帯幹細胞が保存されていることから、湖北省幹細胞バンクより運営を委託されている武漢道培胎盤幹細胞生物技術有限公司は、再生因子を生産する際に必要な臍帯幹細胞を機動的に入手でき、臍帯幹細胞から再生因子を生産する手順や条件を決定し、再生因子の品質を統一できると考えております。これにより、幹細胞自体が安い中国においては、日本で同品質の再生因子を生産するより格段に安く、大量に生産することができるようになります。また、北京南山記念幹細胞生物技術有限公司は、幹細胞移植の専門家であり中国の造血幹細胞バンクの創始者である陸道培先生の指導のもと、幹細胞バンクと幹細胞移植を一体化した総合病院を北京と上海に展開し、20 以上の医科大学付属病院を教育していることから、再生因子を使った再生医療の臨床をスピーディーに拡げていくことが可能です。

(2) 思丹姆賽欧科技（天津）有限公司とは、ヒト由来の乳歯髄幹細胞の培養により産出される再生因子を生産、販売する合弁会社を設立する予定です。神経系の細胞再生を促すには、ヒト由来の乳歯髄幹細胞の培養から産出される再生因子が有効であると医療学会で発表されております。思丹姆賽欧科技（天津）有限公司は、「中華幹細胞バンク」のブランド名を許された中国で唯一の乳歯髄専門の幹細胞バンクです。既に北京近郊に完成した、生物医学の発展を目的に医薬品の開発や臨床研究を推進する産業パーク「肽谷生物科学園・固安」より招聘され、間もなく施設内に GMP、GLP に基づいた 2,000 m<sup>2</sup>のワークショップを稼働させます。合弁会社は、同施設内に設立予

定で、通常、入手することが難しい乳歯髄幹細胞を機動的に入手できるため、「再生因子を使った再生医療」のビジネス化においては最適なビジネスパートナーです。乳歯髄細胞から再生因子を生産する手順や条件を決定し、再生因子の品質を統一することができると考えており、これにより、幹細胞自体が安い中国においては、日本で同品質の再生因子を生産するより格段に安く、大量に生産することができるようになります。

## 2. 覚書の内容

合弁会社設立に関する覚書の主な内容は以下のとおりです。

### (1) 北京南山記念幹細胞生物技術有限公司との覚書の主な内容

① 名称	未定、別途開示いたします。
② 合弁会社の住所	湖北省武漢市東湖高新技術開発区「湖北省幹細胞暨」の中に置く。
③ 代表者	未定、別途開示いたします。
④ 事業内容	再生因子にかかる再生医療事業
⑤ 資本金	未定、別途開示いたします。
⑥ 出資比率	北京南山記念幹細胞生物技術有限公司 50%、当社 50% 当社側の出資元は、中国の当社子会社に変更する可能性があります。
⑦ その他	新会社の設立手続・設立費用の分担、役員構成、事業内容その他の詳細については、「合資協議書」を締結する。 新会社で規格した再生因子は、新会社以外で製造販売してはならない。

### (2) 思丹姆賽欧科技（天津）有限公司との覚書の主な内容

① 名称	未定、別途開示いたします。
② 合弁会社の住所	河北省廊坊市固安工業園区「肽谷生物科学園・固安」の中に置く。
③ 代表者	未定、別途開示いたします。
④ 事業内容	再生因子にかかる再生医療事業
⑤ 資本金	未定、別途開示いたします。
⑥ 出資比率	思丹姆賽欧科技（天津）有限公司 50%、当社 50% 当社側の出資元は、中国の当社子会社に変更する可能性があります。
⑦ その他	新会社の設立手続・設立費用の分担、役員構成、事業内容その他の詳細については、「合資協議書」を締結する。 新会社で規格した再生因子は、新会社以外で製造販売してはならない。

### 3. 覚書締結先の概要

#### (1) 北京南山記念幹細胞生物技術有限公司

商号	北京南山記念幹細胞生物技術有限公司 <a href="http://www.nsmmi.com/cn/">http://www.nsmmi.com/cn/</a>		
本店所在地	中国北京市		
代表者の役職・氏名	董事長 陸文昭		
事業内容	幹細胞保存技術など再生医療の技術開発		
資本金の額	1,890 万元 (32,131 万円、1 元=17 円換算)		
設立年月日	2011 年 5 月		
大株主及び持株比率	香港南山記念医療機構 100%		
上場会社と当該会社との関係等	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態 <span style="float: right;">単位：万元 (万円)</span>			
決算期	2011 年 12 月期	2012 年 12 月期	2013 年 12 月期
純資産	4,836 (82,221)	3,855 (65,536)	3,985 (67,758)
総資産	4,953 (84,217)	5,805 (98,695)	6,573 (11,174)
1 株当り純資産 (元) (円)	1.08 (18.36)	0.73 (12.41)	0.68 (11.56)
売上高	28 (492)	356 (6,060)	2,103 (35,761)
営業利益	△624 (△10,612)	△1,147 (△19,503)	△222 (△3,785)
経常利益	△624 (△10,612)	△1,067 (△18,143)	△222 (△3,775)
当期純利益	△624 (△10,612)	△1,067 (△18,143)	△222 (△3,775)
1 株当り当期純利益 (元) (円)	△0.14 (△2.38)	△0.20 (△3.4)	△0.04 (△0.68)
1 株当り配当金 (元) (円)	— (—)	— (—)	— (—)

#### (2) 思丹姆賽欧科技 (天津) 有限公司

商号	思丹姆賽欧科技 (天津) 有限公司 <a href="http://www.chinastemcellbank.com">http://www.chinastemcellbank.com</a>
本店所在地	中国天津市
代表者の役職・氏名	總經理 劉忱
事業内容	バイオ実験室に関わる設備、製剤、消耗品の開発、生産、販売および関連事業のコンサルティングサービス バイオテクノロジー関連のコンサルティング及び技術サポート 臨床テスト試薬の研究開発 幹細胞と関わる細胞組織材料の収集及び処理、幹細胞の培養・保存及び提供 幹細胞および関連製品の開発
資本金の額	100 万元 (1,700 万円、1 元=17 円換算)
設立年月日	2012 年 8 月

大株主及び持株比率	劉忱 70%、蔡鵬 30%		
上場会社と当該会社との関係等	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			単位：万円 (万円)
決算期	2013年12月期	—	—
純資産	1,100 (18,700)	—	—
総資産	3,500 (58,500)	—	—
1株当り純資産 (元) (円)	1.1 (18.7)	—	—
売上高	3,800 (64,600)	—	—
営業利益	830 (14,110)	—	—
経常利益	790 (13,430)	—	—
当期純利益	380 (6,460)	—	—
1株当り当期純利益 (元) (円)	0.38 (6.46)	—	—
1株当り配当金 (元) (円)	0.12 (2.04)	—	—

※当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態における ( ) 内は、1元=17円で換算した円貨です。

#### 4. 日程

覚書締結 : 平成26年3月17日 (予定)

合資協議書締結 : 平成26年3月中 (予定)

事業開始日 : 合弁会社が設立でき次第開始する予定です。

なお、合資協議書の具体的な内容については、合資協議書を締結次第お知らせいたします。

#### 5. 今後の見通し

本件覚書の締結による当社業績に与える影響はありませんが、今後の取組みの状況により業績に与える影響が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

#### 6. (参考)

平成25年11月期連結実績

(千円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
平成25年11月期 連結実績	481,615	△309,858	△247,245	△192,490

以 上